

問一 次の仮名は高野切第三種にみられる連綿です。正しく軽快に連綿しなさい。

あ
あ
あ

ひ
ひ
ひ

う
う
う

問二 次の文章を、漢字は行書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

日本人は恥辱感を原動力にしている。明らかに定められた善行の道標に従えなすこと、いろいろの義務の均衡をたもち、または起こりうべき偶然を予見することができないこと、それが恥辱である。恥は徳の根本である、と彼らは言う。

（ルーズ・ベネディクトの文章より）

問三 次の文章を、漢字は楷書で、調和よく書きなさい。出典も記入すること。

むしろ危険は、当然なすべき懷疑をなさないで漠然たる不安の中に生きることである。我々は無用な不安の中に生くべきではない。しっかりとした中核的思想を抱いて、価値ある懷疑をしなければいけない。それによってのみ問題を解決し、進歩してゆくことができる。

（スピノザの文章より）

問四 次の風信帖を、解答欄の大きさにあわせて調和よく臨書しなさい。
※臨書…古典の字形や線などの特徴を捉えて書くこと

風
信
雲
書
自
天

（風信雲書自天）

問五 次の平仮名、片仮名の字源（平仮名、片仮名のできるもとの漢字）を、楷書で書きなさい。

な
た
ア
ケ
マ
工
ゆ